



江別ユネスコ協会事務局だより 2016年2月4日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:石津☎381-1069)

「世界遺産の今後の課題」～当協会の学習会を開催します！

2015年は、ユネスコが設立されて70年になる記念すべき年でしたが、世界の治安は安定するどころか、一段と厳しい情勢になっています。2015年6月28日から7月8日まで、ドイツのボンで開催された第39回世界遺産委員会の冒頭では、ユネスコ事務局長のイリーナ・ボコヴァ女史が、「今や世界遺産の多くは攻撃、破壊、盗難の危険にさらされています。」と悲鳴に近いスピーチをしました。私たちは、この文明の危機を、どうやって乗り越えることができるのでしょうか。

江別ユネスコ協会では、下記のとおり学習会を開き、いま世界遺産プログラムが直面している問題を明らかにし、世界遺産活動の当初の目的と手法に照らし合わせて、抜本的な改革を行うにはどうすれば良いか、考えてみたいと思います。併せて、最近マレーシアを訪問した講師の現地報告を聞き、アジアのイスラム国家の人々と、将来どんな付き合い方をすれば良いのか、今のうちに考えておきたいと思います。

◎学習会テーマ：世界遺産の今後の課題とマレーシアの文化財

◇と き：3月5日(土) 13:30～15:30

◇ところ：野幌公民館・1階団体活動室

◇講 話：田村邦雄氏(江別ユネスコ協会会長)

※この学習会は「江別市郷土資料館友の会」との共同開催とします。

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦は取り下げるか？

2016年7月開催の第40回世界遺産委員会で審議される見通しだった「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、日本政府と地元の長崎県・熊本県は、今回の推薦を取り下げることを検討しています。その原因は、文化遺産候補の事前審査に当たるイコモス(国際記念物遺跡会議)から出された報告書が1月中旬に日本政府にも届けられ、日本政府が昨年1月に提出した推薦書の書き直しを勧告したことにあります。この報告書では、キリスト教「禁教」の部分を強調して詳細に書くことなどを勧めているようです。

この勧告を無視すると、世界遺産委員会に対し「登録延期」または「不登録」という厳しい勧告が、イコモスから出される恐れがあります。今回は推薦を取り下げるのが最善策と思われ、2017年に審議される予定の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の登録が決着したのち、2018年以降に説得力のある「再推薦」を行なったほうが、登録の可能性がより大きくなるでしょう。

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力しています。また「書き損じハガキ」を回収して世界寺子屋運動に協力しています。集めた枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いいたします。

国際センター「2016冬の集い」にご参加ください！

当協会が加盟している江別市国際交流推進協議会では、2月14日(日)13:00より「2016冬の集い」を、江別国際センター(イオンタウン江別2階)で開催します。「英語でクッキング」や「韓国文化キンパ紹介」などのほか、「プロジェクトンマッピング」やサルサダンス、ブラジル武術カポエイラ、ピニャータ割りなど多彩な演し物が行われます。多数のご参加をお願いします。無料。

